

【資料 2】

◎ 本日の内容

□ 第 1 回協議会の振り返り

□ 沼津市自転車活用推進計画素案
について

- ・実施施策について
- ・計画期間および指標について
- ・計画の推進について

□ 今後のスケジュールについて



- 国の推進計画の構成を参考とし、地方版推進計画の構成を検討する。

※自転車活用推進法には、地方版推進計画の構成は示されていない

- 下記に計画の標準的な構成（例）を示すが、地域の実情を反映し、必ずしもこの構成にとらわれる必要はない。
- なお、計画の記載内容については、各策定主体の判断により決定するものであり、基本的な方針のみを示す基本計画と、詳細な施策まで示す実施計画を分割し、策定することもある。

第1回協議会での議論

第2回協議会での議論

【地方版推進計画の構成（例）】

- (1) 計画の目的・区域・期間 計画の位置付け
- (2) 現状及び課題、計画の目標
- (3) 実施すべき施策、実施スケジュール
- (4) 計画の推進体制、計画のフォローアップ及び見直し方法



各目標を達成するための6つプロジェクト

8

6つのプロジェクトを実施していくことで、各目標の達成を目指します

計画目標1では、安全・快適に正しく自転車を利用できる自転車走行空間の整備などの自転車利用環境の充実によって、自転車の安全性を確保することを目指します。

I 自転車通行空間整備推進プロジェクト

II 自転車安全利用促進プロジェクト

計画目標2では、良好な都市環境の形成や、ヒト中心のまちづくりと連携した取り組み等によって、自動車への過度な依存を低減することを目指します。

III 良好な都市環境の形成プロジェクト

IV ヒト中心のまちづくり連動プロジェクト

計画目標3では、日常生活における積極的な自転車の利用を推進することで、市民の健康を増進することを目指します。

V おでかけサイクリングプロジェクト

計画目標4では、地域資源を生かした魅力的なサイクリング受入環境を充実させることによる交流人口の拡大を目指します。

VI 魅力的なサイクリング、
サイクルツーリズム創出プロジェクト

なお、計画期間は令和3年度～令和12年度までの10年間とし、計画を推進します。



措置	1.沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備								
事業内容	・沼津市自転車ネットワーク計画に基づき、通勤・通学・買物等の日常的な移動や観光・レクリエーション等で、安全・安心・快適に自転車を利用できるよう、自転車通行空間の整備を効果的、効率的に推進します。								
実施主体	市担当課：建設デザイン調整室・道路建設課 関連する事業者、行政機関等：道路管理者・警察								
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12

実施



自転車道
(国道414号)



自転車専用
通行帯
(市道0246-3号線)



自転車歩行者道
(国道414号)



車道混在
(市道0107号線)

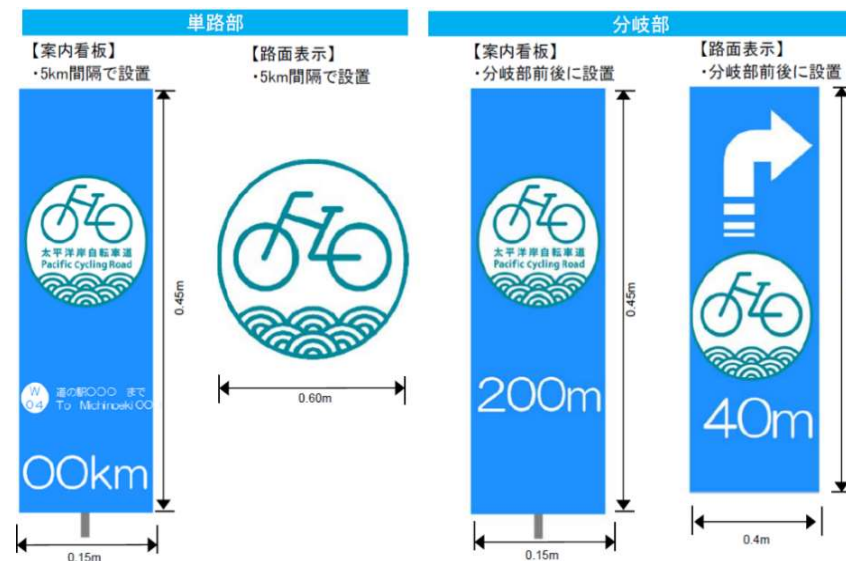


沼津市自転車ネットワーク計画路線（市街地）（出典：沼津市）



措置	2. 自転車を利用しやすい環境の整備
事業内容	- 案内誘導サイン、危険箇所での注意喚起、夜間の安全性を確保するための街灯等を整備します。 - 県の整備方針やナショナルサイクルルートにおける案内誘導の方針を踏まえ、多言語化を含めた統一的な案内誘導サイン等を整備します。
実施主体	市担当課：建設デザイン調整室・道路建設課・道路管理課 関連する事業者、行政機関等：道路管理者・警察

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



太平洋岸自転車道における路面表示・案内看板の整備イメージ
(出典: 国土交通省)



措置	7.世代に応じた交通安全教室の開催
事業内容	・安全な自転車利用に求められるルール・マナーは年齢等に応じて異なる場合があるため、子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに合わせた体系的な自転車安全教育を実施します。 ・子ども、初心者、女性、高齢者など、ターゲットに応じた自転車の乗り方教室を実施します。 ・運転免許証返納後の足として、電動アシスト自転車を使用した交通安全教室の実施など、各世代のニーズに合わせた交通用具を用いた自転車安全教室を実施します。
実施主体	市担当課：生活安心課・学校教育課 関連する事業者、行政機関等：教育委員会・警察・交通安全協会

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

実施

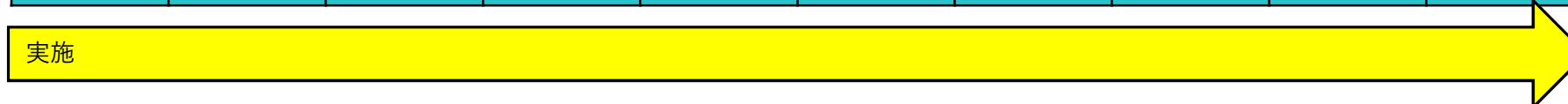


交通安全教室の実施の様子
(出典：沼津市))



措置	8.自動車との共存に向けた相互理解の促進
事業内容	・自転車利用者だけでなく、道路上において互いに関与しあうクルマのドライバー及び歩行者に対しても、自転車ルールや思いやり運転等を周知・啓発することで、自転車交通の総合的な安全性の向上を推進します。 ・各世代での交通安全教室実施の際や、教習所での講習時に、安全を保つためのルールや、マナーの周知啓発を実施します。
実施主体	市担当課：生活安心課 関連する事業者、行政機関等：警察・交通安全協会・自動車教習所等

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



思いやり1.5m運動ステッカー配布の例
(出典：伊豆観光圏活性化協会)

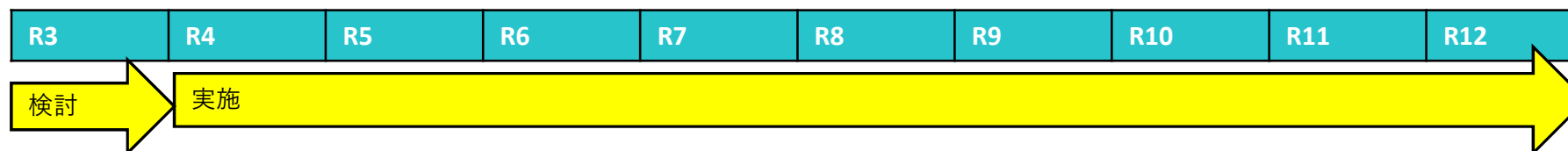
措置	9.沼津市高校生自転車マナー向上委員会による自転車マナー啓発活動の推進
事業内容	・市内12の高等学校で構成される「沼津市高校生自転車マナー向上委員会」の一斉街頭指導及び啓発活動等の活動推進により、高校生のさらなる自転車マナー向上と交通事故防止を図ります。
実施主体	沼津市高校生自転車マナー向上委員会、市担当課：生活安心課・学校教育課 関連する事業者、行政機関等：道路管理者、警察、交通安全協会

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実施									



沼津市高校生自転車マナー向上委員会の活動の様子
(出典:沼津市)

措置	12. 5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進
事業内容	・5月の自転車月間において、市民等の自転車利用促進を啓発するため、自転車を活用した健康増進セミナー、自転車通勤に関するセミナー等のイベント実施やレンタサイクル等の特別割引を検討します。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課、建設デザイン調整室、スポーツ交流推進課、生活安心課



【北海道】

自転車の利用促進や安全利用に係る普及啓発の取組を実施



シェアサイクル登録会



自転車安全教室

【静岡県】

県政広報誌のほかテレビ、ラジオ等報道機関と連携した広報を展開



県政広報誌への掲載

【福岡県】

庁舎内にリーフレットの配架等するとともに自転車シミュレーターの体験コーナーを設置



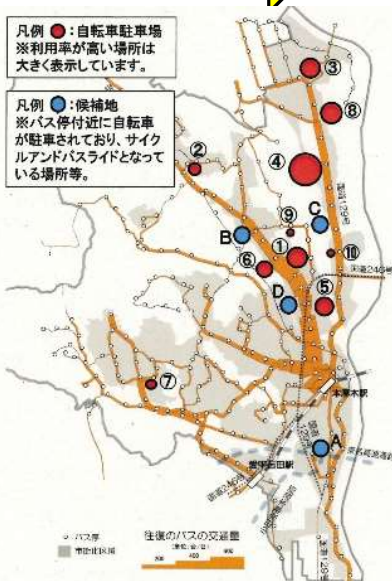
自転車シミュレーターの体験

自転車月間における各地域での取り組みの例(出典:国土交通省)



措置	16.自転車と公共交通の相互利用の利便性向上
事業内容	・自宅から目的地への移動において、バス停周辺施設等と連携した駐輪場の確保に努めることで、自転車とバスを乗り継ぎ、スムーズなおでかけを支援するサイクル&バスライドを促進します。 ・借りた場所以外の場所でも返却できるシェアサイクルの特徴を活かし、路線バスやタクシーとシェアサイクルを相互利用できるサービスを検討します。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課 関連する事業者、行政機関等：交通事業者・民間事業者等

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



◇今後における整備の考え方

【考え方①】

バス停付近の余剰地やコンビニ等に、自転車が自然発生的に駐車され潜在的な需要がある場所に整備する考え方。

○候補地

A：相川中学校前バス停付近(新東名建設予定地の余剰地)

B：宿原入口バス停付近(コンビニの駐車場)

C：中平バス停付近(空き地)

D：林中学校前バス停付近(歩道橋下)

【考え方②】

自動車交通を抑制させ、バスへの転換を促す考え方。

バス停まで歩くのは遠いが、自転車であれば行くことができるというニーズを発掘していきます。

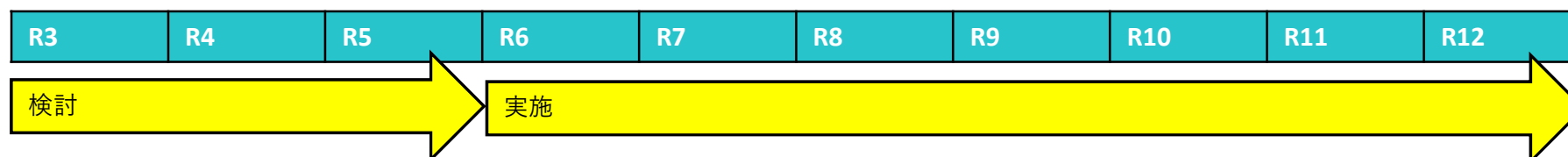


事例：駐輪場の設置 神奈川県茅ヶ崎市
出典：茅ヶ崎市ホームページ

サイクル&バスライドへの取組み(出典：厚木市地域公共交通会議)



措置	18.駐輪場の運営管理及び放置禁止区域の見直し
事業内容	・市営の駐輪場は無料で利用することができ、市内での放置自転車は減少傾向にあります。今後も安全に安心して利用できる駐輪場の維持のため、包括的なマネジメントを行います。 ・また、自転車の回遊性を確保するため、放置禁止区域について柔軟に見直します。 ・都市景観を損なわず、ウォークラブルなまちに資する沼津市中心市街地まちづくり戦略と連携した道路空間での駐輪の在り方を検討します。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課

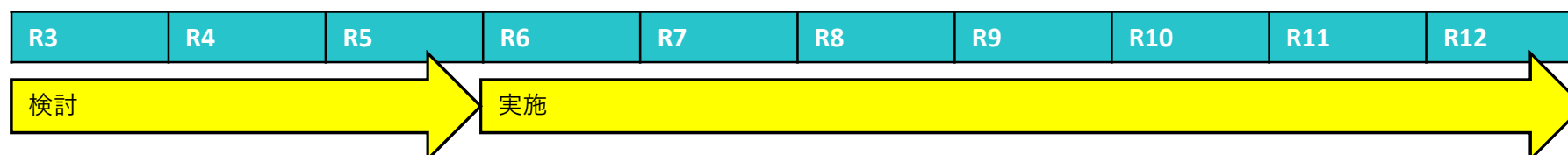


沼津駅北口第2自転車等駐車場



原駅自転車等駐車場

措置	21. まちなか及び周辺地域資源を徒歩・自転車・公共交通で訪れてもらう取組みの検討
事業内容	・市営香貫駐車場や民間駐車場など、中心市街地の外縁（フリンジ）の駐車場（パーキング）を活用し、自転車（シェアサイクルやレンタサイクル）や公共交通を利用して、まちなかや沼津港などを周遊し、滞在してもらう取組を検討します。 ・長期的な視点として、回遊ネットワークの強化を図り、ヒト中心のまちづくりを進めるため、時期や期間を限定したオープンストリート社会実験について検討します。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課 関連する事業者、行政機関等：交通事業者・シェアサイクル・レンタサイクル事業者・駐車場管理者



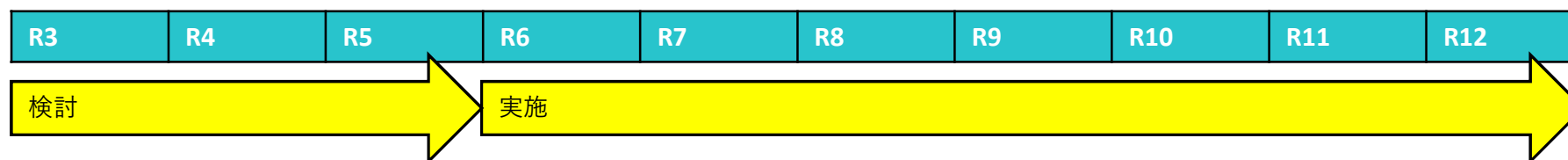
シェアサイクル・レンタサイクルやEVバスで
まちなか、周辺地域資源を回遊する例



パーク&ライド実施例
(出典：奈良県観光公式サイト)



措置	22. 沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討
事業内容	- 沼津市中心市街地まちづくり戦略に位置付けた戦略や方策の進捗と連携し、中心地市街地の自転車通行空間の在り方と駐輪場の配置を検討するものです。 - 具体的には、沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動し、沼津市自転車ネットワーク計画の市中心市街地の路線の見直しや、沼津駅周辺総合整備事業と連動した鉄道高架下等への駐輪場の再配置を検討するものです。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課、建設デザイン調整室 関連する事業者、行政機関等：地域関係者・道路管理者・警察・交通事業者・有識者



沼津市中心市街地まちづくり戦略
沼津駅南口駅前広場 試案



参考：ヒト中心のまちづくりに向けた取組
広島市相生通り社会実験 カミハチキテル(出典：広島市、国土交通省)



措置	24.ぬまづ健康マイレージをツールとした自転車利用の促進								
事業内容	・「ぬまづ健康マイレージ」において健康面から自転車の活用を促し、市民が楽しみながら健康維持・増進に取り組むことを支援します。								
実施主体	市担当課：健康づくり課								
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実施									

ぬまづ健康マイレージ

チャレンジ期間 令和2年 6月1日(月)～令和3年 2月26日(金)

特典1 達成者全員に「ふじのくに健康いきいきカード」プレゼント！
対象店舗で提示すると様々なサービスが受けられる！
(詳細は中をマシナリ)

特典2 さらに抽選で 総計32名様に 5種の景品が当たる!!

ぬまづ健康マイレージ ポイントシート

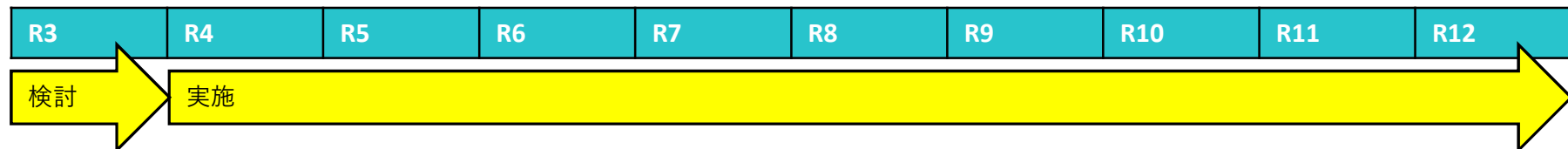
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30

健康メニュー	メニュー項目(例)	ポイント数
こ(心・絆)	1日1回以上「ありがとうという」 誰かの相談にのる ボランティア活動をする	1
う(運動)	ながら運動(何かをしながらの運動)をする 階段を利用する ラジオ体操をする ウォーキングをする 自転車通勤をする	1
し(食事)	主食、主菜、副菜をそろえた食事をする 夜食を控える 毎食野菜を食べる よく噛んで食べる 緑茶を飲む	1
き(健康の基本)	検診を受ける(がん検診・特定検診・歯科検診・人間ドッグなど) 予防接種を受ける 乳がんのセルフチェックをする 市・一律病院主催の運動教室・健康講座を受講する	3

ぬまづ健康マイレージ



措置	26.自転車の魅力、楽しさ、健康効果の周知啓発およびイベント・講習会の実施
事業内容	・市民の運動習慣に対する意識の向上させるため、自転車の魅力や楽しさ、自転車を活用した健康づくりに関する有用な情報（健康増進に資する自転車活用に関する好事例や、活用効果などに関する情報）を積極的に発信します。 ・静岡県東部・伊豆地域で活動する地元密着型プロサイクリングチーム等と連携し、自転車の楽しさやルールを子どもたちに教える自転車教室など、自転車の魅力や楽しさ、健康効果を伝えるイベント・講習会を実施します。 ・自転車メーカー等と連携し、自転車の移動のしやすさを体験するための電動アシスト自転車の体験会や講習会を実施します。
実施主体	市担当課：健康づくり課・スポーツ振興課・スポーツ交流推進課 関連する事業者、行政機関等：サイクル事業者



プロチームと連携した自転車教室の例(宇都宮市)
(出典:宇都宮ブリッツェン)



措置	28.広域連携によるサイクルートのブランド化の推進
事業内容	・静岡県自転車活用推進計画の県モデルルートのうち、「太平洋岸自転車道」「伊豆半島1周ルート」が市内を通っており、狩野川を通じた伊豆半島、太平洋岸自転車道等を生かした広域的な施策による集客のポテンシャルを秘めています。 ・広域組織や周辺自治体と連携し、ナショナルサイクルルートを目指す「太平洋岸自転車道」、「伊豆一周」、「富士山一周」のブランド化を進めるとともに、周辺イベントの実施やレンタサイクルの貸出、各ルート周辺のバイシクルピット、サイクルステーションの充実を検討します。
実施主体	市担当課：スポーツ交流推進課 関連する事業者、行政機関等：静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会・（一社）美しい伊豆創造センター・周辺自治体

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

実施



「伊豆一周サイクリング」の取り組み例
(出典：（一社）美しい伊豆創造センター)



サイクリングツアーの例(つくば霞ヶ浦りんりんロード)
(出典：神栖市自転車活用推進計画)



措置	29.地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の推進								
事業内容	・サイクリングで多様な地域資源が楽しめる各エリアの魅力や特性を捉えたサイクルコースや体験型・交流型の観光プランを造成し、それを生かした県内外への情報発信やサイクルツアー等を企画・開催します。 ・サイクリングコース・観光プランは、サイクリング愛好者のレベルや観光客のニーズに応じた多彩なコースを設定します。								
実施主体	市担当課：スポーツ交流推進課・観光戦略課 関連する事業者、行政機関等：サイクル事業者・観光事業者								
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実施									

SANSO
06

桜×スイーツ散走

走行距離 約15km

春風吹く中、旭川に沿った道の両側に植えられた1kmにわたる桜のトンネルや、桜並木を自転車で巡っていきます。地元で人気のお店に立ち寄ったり、旬の果物を使ったスイーツに舌鼓。女性に人気のメニューです。



2021

① 3/27[土] ② 3/28[日]

●定員 15名 ●参加料金 4,000円

●START 10:00 - GOAL 15:30

●集合場所 JR中国勝山駅

住所：真庭市勝山420-2

サイクリングツアー(散走)の例
(出典：真庭市観光協会)



措置	31.民間連携によるサイクリスト受入環境の向上								
事業内容	・自転車利用者に自転車修理工具や空気入れの貸出、休憩場所の提供等のサービスを提供するバイシクルピットの拡充及びサービスの向上を行います。 ・市内の観光施設や宿泊施設に、食事・休憩ができる場所・立ち寄りスポットの情報提供や手荷物預かり、自転車を安心して屋内に保管できるサービスの提供を呼びかけ、「サイクリストに優しい施設」として情報発信を行います。 ・民間事業者等と協力し、レンタサイクルやシェアサイクルの普及促進を図ります。 ・交通事業者と連携し、サイクルキャリータクシーの運行など、サイクリストが安心・快適に来訪できる環境を整えます。								
実施主体	市担当課：スポーツ交流推進課 関連する事業者、行政機関等：サイクル事業者・観光事業者・交通事業者								
R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12

実施



バイシクルピットの設置例



サイクリストに優しい宿の例（伊豆市）（出典：伊豆市観光協会）



措置	32.情報発信ツールの作成
事業内容	・サイクリングの計画時やサイクリング中に必要とする情報を自転車利用者が入手できるよう、走行可能なルートや食事・休憩場所、立ち寄りスポットに関する情報等を積極的に情報発信するためのツールを作成します。 ・情報収集媒体は、WEBサイトのほか、沼津駅の観光案内所や宿泊先に紙媒体での提供も行います。
実施主体	市担当課：スポーツ交流推進課 関連する事業者、行政機関等：サイクル事業者・観光事業者

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実施									



サイクリングマップの例
(狩野川周辺地域)



計画の指標について（案）

25

	No	指標 (●アウトカム、○アウトプット)	単位	基準年	R7 中間	R12 最終
計画目標1 自転車利用環境の充実による安全性確保	1	●市内の自転車事故発生件数	件/万人	【R1】 11.8	9.7	9.2
	2	○自転車通行空間の整備延長	km	【H31】 43.0	60.4	71.1
	3	○交通安全教室の回数	回数	【R1】 368	370	380
計画目標2 移動の利便性向上による 自動車への過度な依存の低減	4	●自動車利用割合	%	【R1】 69.6	66.4	63.2
	5	●鉄道&バス利用割合	%	【R1】 21.6	23.2	24.8
	6	●自転車利用割合	%	【R1】 19.2	20.8	22.4
	7	○市内のサイクル&バスライド用 駐輪場の数	箇所	【R1】 1	5	10
計画目標3 自転車の活用による健康の増進	8	●健康増進のため自転車を利用 する人の割合	%	【R2】 43.2	45	50
	9	○自転車関連イベントの延べ 実施回数	回数	【R1】 5	25	50
計画目標4 サイクルツーリズムの推進による 交流人口の拡大	10	●サイクル拠点施設の延べ利用者	千人/年	【R1】 2.3	13.0	28.5
	11	○サイクリングコース・観光プラン等 の延べ造成数※	コース	【R2】 0	10	20
	12	○パートナー事業者数	カ所	【R1】 47	70	90
	13	○サイクリング関連HP「ぬまづ サイクリング」の年間閲覧数	万PV	【R1】 1.5	1.8	2.05

沼津市自転車活用推進協議会にて、PDCAサイクルを着実に展開します。

計画の進捗状況については、毎年度フォローアップを実施し、必要に応じて有識者の助言を受け、計画全体の進捗状況を評価・検証し、事業の見直し・改善等を行います。

